

プルタブ回収し 特養に車いす贈る

リサイクル会社など



車いすを手渡す海老沢秀樹専務（右から2人目）と佐藤啓協力会会長（右端）

＝山形市・飯塚なごみの里

山形

山形市飯塚町のリサイクル業のクリーンシステム（鈴木隆社長）と同社協力会（佐藤啓会長）は9月29日、市社会福祉協議会を通じ、同地区内にある特別養護老人ホーム「飯塚なごみの里」に車いす1台を寄贈した。

同社と協力会は、CSR

（企業の社会的責任）活動

の一環で2009年からエ

コキヤップとプルタブ回収

に取り組んでいる。換金し

て積み立てたお金を活用

し、今回初めて施設への寄

贈に充てた。

海老沢秀樹クリーンシス

テム専務と佐藤協力会会長が施設を訪れ、梅津盛人市社協主査と、阿部啓一飯塚なごみの里施設長に車いすを手渡した。海老沢専務は「今後も地域に貢献してい

きたい」と話し、阿部施設長は「車いすで利用者の暮らしの幅が広がる。地域とのつながりも感じることで、心強い」と感謝の言葉を述べた。

2017. 10. 2